

報告 第五十九號

セメント労働組合門司支部第九周年次總會

昭和十一年十月三日

セメント労働組合門司支部第九周年次總會

最近組合運動として特に見る可きものなく寧ろ組合の現状維持に努め來つた觀あるセメント労働組合門司支部の本年第九周年次總會にて特に注目されたる事は登壇辯士の悉くが眞摯な生活不安定を叫び對會社待遇改善要求たる企議案の徹底的遂行を決議し之が實行の爲從來の支部長を相談役とし青年氣鋭の山本鶴市を新支部長に選任した事であつた、近來内部財政も漸次充實しつつあるを以て今後活潑な運動が豫想せらるるも、同一工場内に少數乍ら夫々對立せる準労働組合たる庚午會、勞資一致會其の他共立購買組合等ありて之等との歩調如何が其の活動がなり影響を及ぼすのである。

總會の狀況左の通り。